

歴史を訪ねて

昭和27年の開設から70年以上、時代の変化とともに姿や運営体制を変えながら、町民の暮らしと健康を支えてきた町立診療所。その歩みをたどります。

びっぶクリニックの変遷

昭和27年4月、国民健康保険事業が農協から村に移管され、役場隣に「比布村国民健康保険診療所」が開設されました。32年には役場裏に病床20床を備えた国保直営病院が建設され、内科・外科の診療を開始しました。

しかし、医師の確保や経営面の課題に直面し、昭和45年に診療所へと規模を縮小。46年には名称を「比布診療所」と改め、町出身の村井吉太郎医師による運営体制へ移行しました。52年には施設の老朽化に伴い役場隣に移転新築し、その後も増築や改修を重ねながら診療機能の維持向上を図ってきました。

平成12年には現在の「びっぶクリニック」が完成。療養型病床8床を含む19床を備え、手術やCT検査に対応できる施設として、外来診療と入院医療を行ってきました。

平成30年から指定管理者制度を導入し、医療法人社団友崇会が運営を担いました。令和7年4月からは社会医療法人元生会が運営を引き継ぎ、入院病棟を廃止し、外来診療を中心とした体制となっています。院長は松田佳也氏です。

松田院長「町民の皆さまの健康維持に貢献できるよう努めます。今後ともよろしくお願ひ申し上げます」
(参考・比布町史第四巻)



旧国保病院（昭和51年撮影）

昭和32年に病床20床、内科・外科を備えて建設。老朽化に伴い、昭和52年に移転新築され、その役目を終えました。



比布診療所（平成6年撮影）

昭和52年建設。平成12年12月に現在のぴっぶクリニックへ移転後、改修を経て高齢者共同住宅「ひまわり荘」として生まれ変わりました（現在は閉鎖）。



ぴっぶクリニック 新体制で診療再開（令和7年4月撮影）

院内を改装し、新体制で診療を再開。初日には各種メディアも訪れ話題となりました。

発行・編集

ふるさと通信『ぴび』 令和8年3月4日発行（通巻第26号）

■発行 比布町

■編集 総務企画課 総合政策室 まち発信係

〒078-0392 北海道上川郡比布町北町1丁目2番1号

☎0166-85-2111（代表） 0166-85-4802（総合政策室直通）

□ホームページ <http://www.town.pippu.hokkaido.jp>

□Eメール ichigo@town.pippu.hokkaido.jp



ナナプラザの「冬いちご」

まちの人口

総数 3,308人

男 1,566人

女 1,742人

世帯数 1,717世帯

■令和8年1月末日現在
住民基本台帳等登録数

ふるさと通信「ぴび」は、比布を離れられた方と比布を結ぶ情報紙です。
みなさまから、町外で暮らしているご家族やご友人へお届けください。